



東北まちづくりオフサイトミーティング第36回勉強会 in 名取・尚絅学院大学

東北発・自治体職員の底力

～東北の未来のために頑張る公務員大集合～



急激な人口減少社会を迎えるなかで、公共サービスの考え方や地方自治体に求められる役割も大きく変化している。このような時代のなかで、従来の考え方に縛られず、新たな発想で自分たちのまちや地域を元気にしている自治体職員を東北各地からお迎えし、それぞれの活動内容や地域に対する思いなどを熱く語っていただき、これにより地域づくりに関するノウハウや想いの共有を図る。

また、今回の勉強会では台風19号で甚大な被害を受けた丸森町筆甫地区より同地区連絡協議会事務局長の吉澤武志さんをお迎えし、丸森町の現状や今回の台風被害を受けて吉澤さんご自身が感じている防災に対する考え方、行政や自治体職員の役割についてお話いただきます。

日時

2019年
12月7日 (土)
12:30～17:00

会場

尚絅学院大学
学生会館 多目的ホール
名取市ゆりが丘4-10-1



定員
130名

400台分
駐車場有

申込みはこちら

こくちーず
(当日支払い)

Peatix
(事前支払い)

主催：東北まちづくりオフサイトミーティング 共催：尚絅学院大学

本勉強会に、尚絅学院大学人文社会学群人文社会学類「地域活動実習」履修学生が授業の一環として参画します。



東北まちづくりウェブサイトミーティング（東北OM）とは・・・
 東北管内で地域活性化に資する人材育成を目的に、2009年6月6日に発足。当初は30名程度の会員数だったが、現在は850名を超えるに至っている。主な活動は東北を中心に数ヶ月に一度の割合で開催している勉強会や各種イベントの開催とSNSなどを活用した情報発信及び情報交換となっている。震災以降は、被災地と被災地以外の地域や人材とをつなぐ活動も実践している。

～ ゲストスピーカー&スペシャルゲスト ～

青森県代表：川部 小枝華さん（むつ市）
 地域コミュニティの活性化

むつ市脇野沢地区の枯れてしまった温泉を、地域住民の地域住民による地域住民のためのコミセン機能を持ち合わせた銭湯「コミュニティ銭湯」へと生まれ変わらせた仕掛け人です。

秋田県代表：柿崎 知洋さん（秋田市）
 code for akitaの取組み

ホームページの運用やICT関連の政策取りまとめを担当。以前、行革担当時代に進めようとしたオープンデータの主要担当者となり、Code for Akitaの立ち上げとその後の取り組みを楽しく進めている。

岩手県代表：中軽米 真人さん（八幡平市）
 起業支援策

「起業志民プロジェクト」を主導し、日本全国のみならず海外からも参加者が集まるプログラミング合宿「Sバルタキャンプ」を監修。そこから八幡平市の定住者・起業家を生み出している。

山形県代表：坂本 静香さん（山形県）
 ウーマノミクス

子育て、雇用対策等の部署で、一貫して女性の人材育成や活躍推進、女子高校生の地元定着などに取り組んできた。女性の活躍支援をライフワークに、公私融合な日々を送っている。なお、夫の健太郎さんは昨年のスピーカー。

宮城県代表：鈴木 敬さん（栗原市）
 移住定住策

移住者の受け入れ態勢の整備や東京と栗原をつなぐ交流創造拠点「東京くりはらオフィスの」の立ち上げに関わり、栗原市を「2019年版『住みたい田舎』ベストランキング」東北1位にした仕掛け人。

福島県代表：鈴木 孝之さん（磐梯町）
 雪を活用した地域活性化策

2013年から2年間、自治体間の人事交流で西会津町に赴向。そこで出会った仲間たちと、除雪は労働ではなくエクササイズなんだという考えで「ジョセササイズ」という活動をスタート。雪を活用した地域活性化に取り組んでいる。

スペシャルゲスト：吉澤武志さん（丸森町筆南地区連絡協議会 事務局長）

丸森町の現状や今回の台風19号の被害を受けて吉澤さんご自身が感じている防災に対する考え方、行政や自治体職員の役割についてお話をいただきます。

◆スケジュール

- 12:00 開場
 - 12:30 オープニング／趣旨説明／プレゼン順抽選
 - 12:45 事例報告①
 - 13:10 事例報告②
 - 13:35 事例報告③
 - 14:00 事例報告④
 - 14:25 休憩
 - 14:40 事例報告⑤
 - 15:05 事例報告⑥
 - 15:30 スペシャルトーク
 - 16:00 休憩
 - 16:10 公務員と語る 公務員を語る（ショートバージョン）
 - 17:00 エンディング
 - 17:10 閉会
- ※事例報告①～⑥は基本的に当日くじ引きで決定します。

◆アクセス

- 【お車をご利用の場合】**
- ・JR仙台駅から
 - 国道286号を「山形方面」へ約30分
 - ・仙台南I.Cから
 - 国道286号を「ゆりが丘」へ約10分
- 【バスをご利用の場合】**
 （宮城交通バス「日曜・祝日」時刻表参照）
- ・JR仙台駅から
 - 西口バスプール8番のりば 約40分
 - ・地下鉄南北線長町南駅から
 - 3番のりば 約20分
 - ・JR南仙台駅から
 - 西口1番のりば 約15分



◆交流会会場

サッポロビール園仙台ビール園
 （名取市手倉田字八幡310-1）
<https://tabelog.com/miyagi/A0402/A040204/4000139/>

参加費	勉強会のみ参加	勉強会と交流会に参加
一般参加者	1,500円	6,500円
尚綱学院大学の大学生	無料	4,500円
尚綱学院大学以外の大学生	500円	5,000円



◆会場校：尚綱学院大学について

尚綱学院大学では、これからの時代を生き抜く「実力」を身につけるための教育を目指し、これまでの教育内容や方法を問い直してきました。今年度から、尚綱学院大学の新しい学びのカたちとして、1学部6学科を3学群5学類に再編しました。

- 人文社会学群
- 人文社会学類
- 心理・教育学群
- 心理学類
- 健康栄養学群
- 健康栄養学類
- 子ども学類
- 学校教育学類

【尚綱学院大学×SDGs Action】

尚綱学院大学は、明治25年創立以来の建学の精神「キリスト教精神に基づき、他者と共に生きる」に通底する「地球上の誰一人として取り残さない」というSDGsの理念に賛同し、グローバルな視点を持ちつつ、東北の諸課題の解決に焦点を当てた教育・研究を進め、東北を「持続可能な社会」として次世代に引き継いでいくことを目指す、「尚綱SDGs Action」プロジェクトを展開しています。



Passion with Mission

熱い心、響かせる

東北に生きる人々の力になりたい、もっとしたいこと、できることがある。尚綱学院大学は、各々の内にある熱意を高め、実現する力を育成します。そのために、学生と教職員が一つになって、尚綱VISIONを追求します。

< 尚綱VISION >

教育研究と社会貢献のあらゆる活動のなかで、本学のブランド価値を高める最も重要な3大方針。

1. 心を響かせる
共感を醸成し、自分を高める。目の前の人や地元をもっと元気にする、東北一の大学をめざします。
2. 自信をみながく
小さな「面白い」をつみ重ね、自信にする。学期と実践の接点をめいばい経験する、東北一の大学をめざします。
3. キャンパスをひらく
多様な人々と率先して交わり、地域に貢献する、わざわざ来たくなる賑わいを創る、東北一の大学をめざします。

